



『 広島県 の 地方創生 の 取組 』

～ 地方創生とは。今の日本に必要なもの。～

平成31年4月15日



広島県 経営企画チーム
政策監 穂丸 清孝

広島県の地方創生の取組

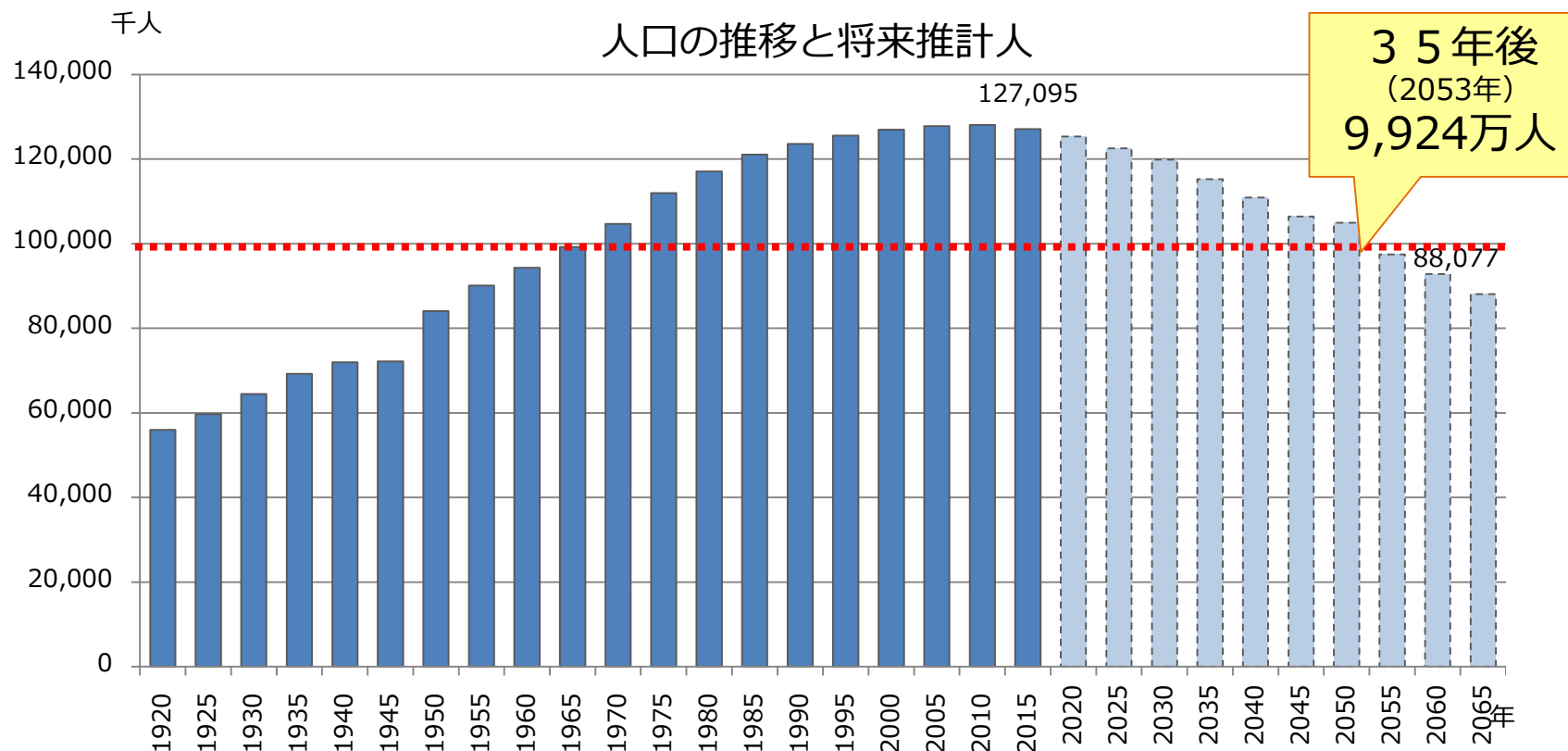
- 地方創生とは
- 2つの限界
 - ・ 東京一極集中
 - ・ 中央集権型行政システム
- 今の日本に必要なもの
 - ・ 新たな成長モデルの構築
- 広島からの地方創生
 - ・ 広島からはじまる『イノベーション』
 - ・ 広島からはじまる『新しい人づくり』

地方創生とは

人口の将来推計：2053年には、1億人を割り込む(9,924万人)
⇒ 2,785万人の人口減少 ≡ 岡山県以西の規模に匹敵

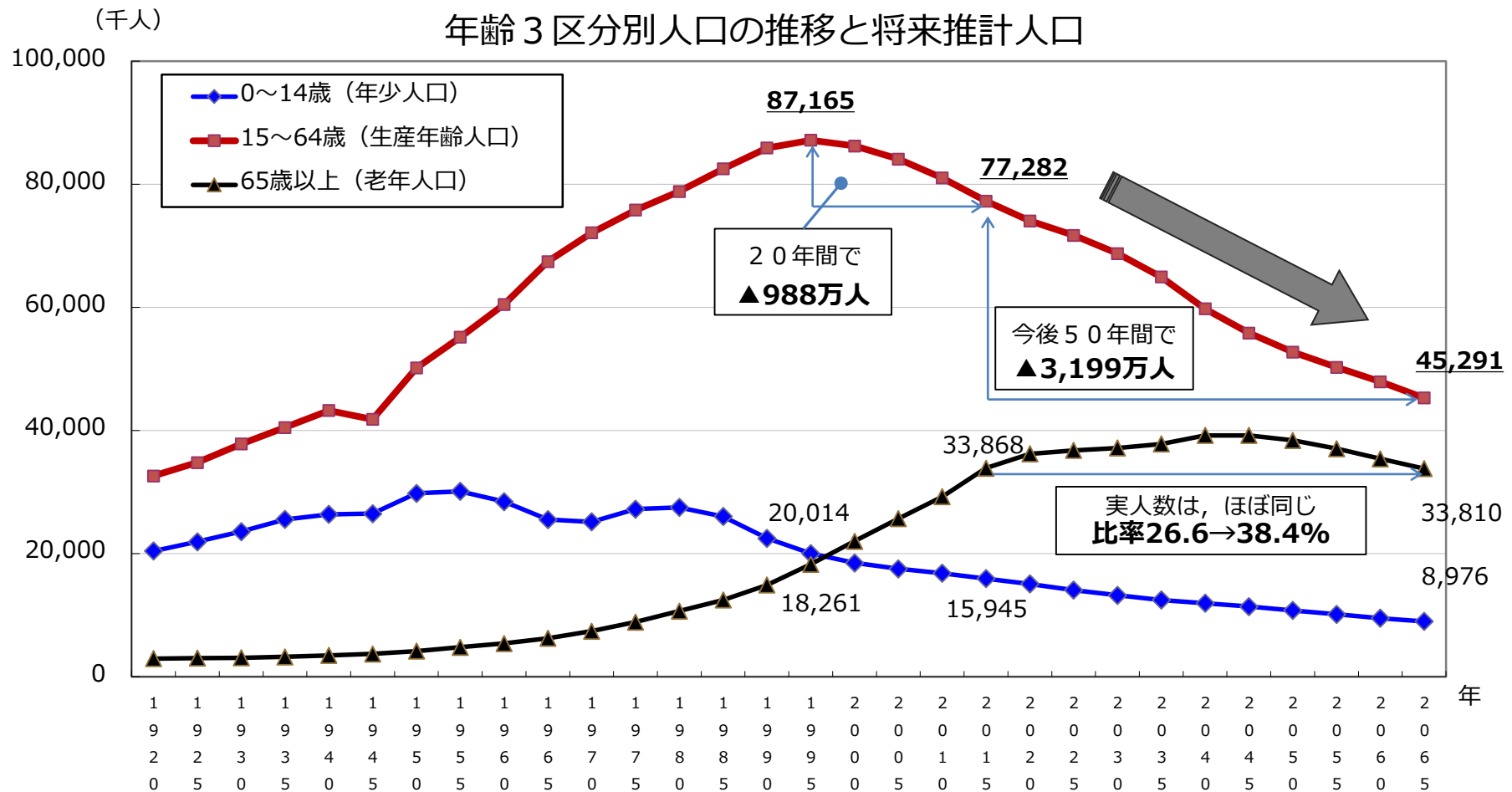
H27国調：1億2,709万人 ⇒ 2053年推計：9,924万人 ▲2,785万人

【H27国調の岡山県以西（中国・四国・九州地方）の合計 2,573万人】



人口減少・少子高齢化による日本全体の経済縮小

⇒ 生産年齢人口（労働力・購買力）の減に伴う社会経済の縮小



なぜ，地方創生に取り組んでいるのか。

人口減少社会

日本は既に，2008年から人口減少に転じている。

平成27年 1億2,709万人
(H22比 ▲96万人)

2053年推計 9,924万人
(2015年比 ▲2,785万人)

国立社会保障・人口問題研究所
平成29年推計

地方は活力を失い，
小さな自治体は消滅の危機

2040年の全国自治体の姿
約1,800のうち，
半数の896が消滅危機に！

「日本創生会議2014」

地方を助けてあげることが，
「地方創生」



本当にそうなの？

2つの限界

- ・ 東京一極集中
- ・ 中央集権型行政システム

東京モデルをみんなで考える。

■東京一極集中

- ☑ これまでどおり, ヒト・モノ・カネを東京に集中させることが, 日本にとって本当に良いことなのか。
- ☑ 世界から見た東京は「生産性の高い」都市なのか。
- ☑ 東京は「暮らしやすい」街なのか。

■中央集権型行政システム

- ☑ 現在の統一性と公平性を重視した全国画一的な制度等で, 急速な社会環境の変化に対応できるのか。

東京が栄えれば，日本は大丈夫なのか？

国勢調査 平成22年：1億2,806万人 ⇒ 平成27年：1億2,709万人 (▲97万人)

東京都除き

平成22年 1億1,490万人
平成27年 1億1,357万人
(▲133万人)



東京都〔11%〕

平成22年 1,316万人
平成27年 1,352万人
(+36万人)



参考：東京圏除き

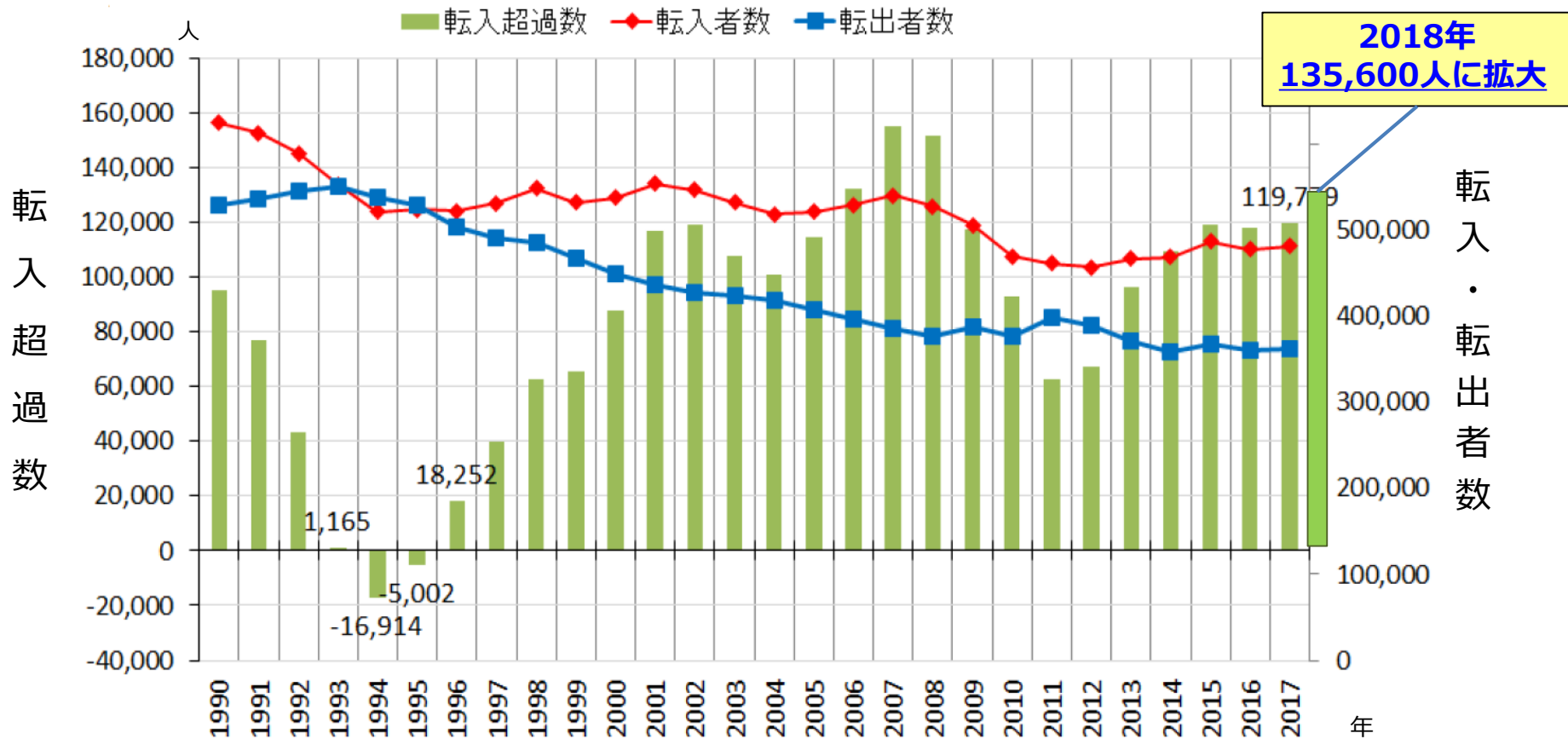
平成22年 9,244万人
平成27年 9,096万人
(▲148万人)

参考：東京圏〔28%〕

平成22年 3,562万人
平成27年 3,613万人
(+51万人)

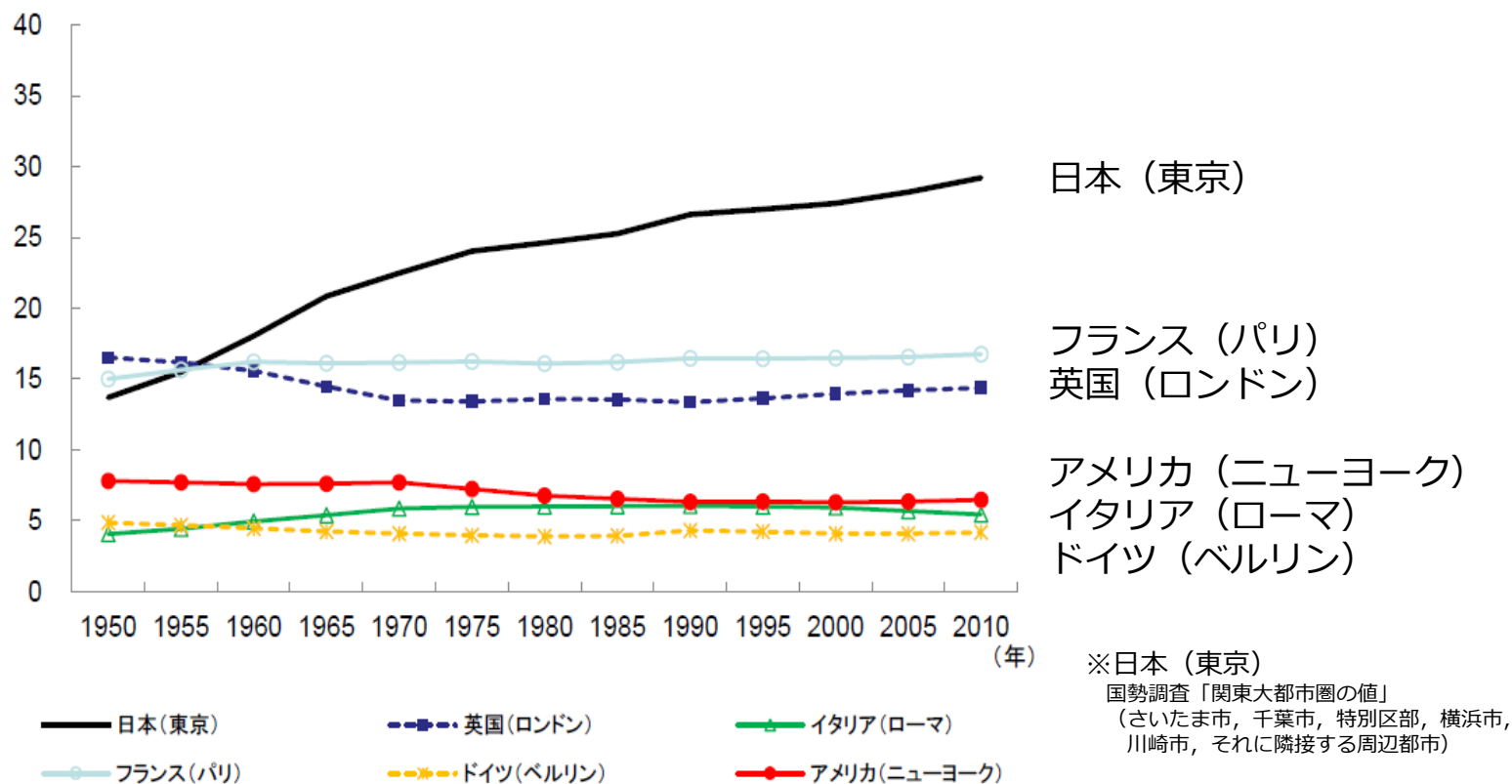
東京圏（一都三県）への社会動態の推移

- 1996年以降，22年連続で転入超過
- 2012年から増加に転じ，近年は高止まり，直近で13万5,600人に拡大



首都圏への人口集中を欧米諸国と比較

⇒ 日本のように首都圏の人口比率が高く、かつ、上昇を続けている国は他には見られない。



世界300大都市との比較

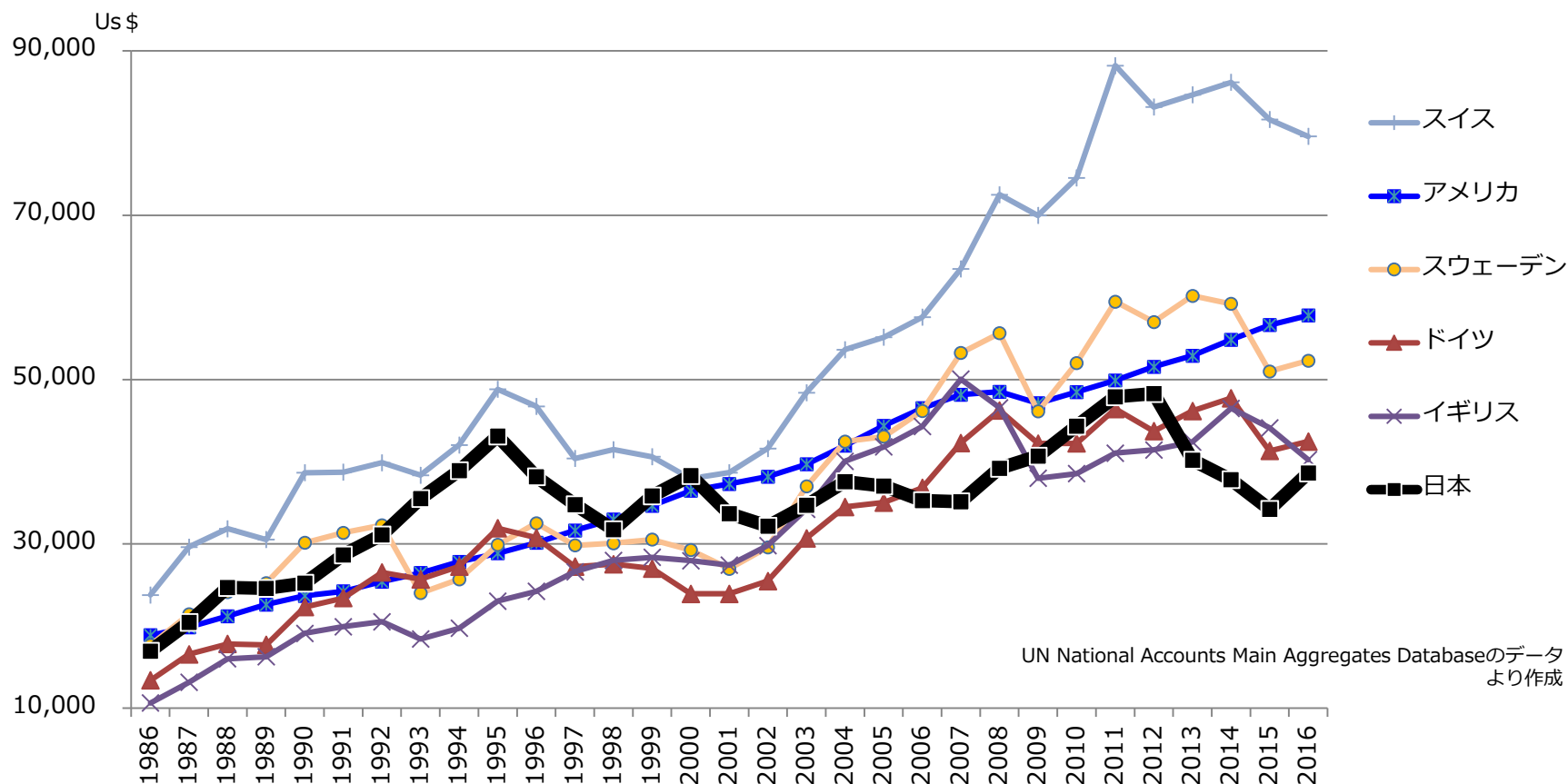
⇒ 東京：201位〔GDP伸び率0.7%，雇用増加率0.9%〕

1人あたりGDPや雇用増加の伸び率を基にした都市別経済パフォーマンス（2013-2014）

Rank Economic Performance 2013-2014	Metro	Country	Development Status	GDP per Capita Change 2013-2014	Employment Change 2013- 2014	Rank Economic Performance 2009-2014
1	Macau	Macau	Developed	8.0%	4.2%	10
2	Izmir	Turkey	Developing	2.0%	6.6%	8
3	Istanbul	Turkey	Developing	2.0%	6.5%	17
4	Bursa	Turkey	Developing	1.8%	6.4%	20
5	Dubai	UAE	Developed	4.5%	4.7%	172
6	Kunming	China	Developing	8.1%	2.9%	9
7	Hangzhou	China	Developing	7.0%	3.3%	6
8	Xiamen	China	Developing	8.6%	2.6%	1
9	Ankara	Turkey	Developing	1.1%	5.7%	27
10	Fuzhou	China	Developing	8.0%	2.7%	13
201	Tokyo	Japan	Developed	0.7%	0.9%	204

出典：The Brookings Institution GLOBAL METRO MONITOR 2014

OECD加盟主要国の1人当たり名目GDPの推移
⇒ 日本は、1995年以降伸びを欠き、近年は下降傾向



「東京一極集中モデル」は既に **"proven failure"** である。

明治期以来の中央集権型行政システムの限界

中央集権型行政システム【機関委任事務制度】

- 行政サービスの実施にあたり、国が制度・運用を定め、統一的に処理させるため、地方自治体を国の機関として位置付け、実務を担わせる。
- 戦後、限られた資源を中央に集中させ、特定の政策や地域に重点配分することで、復興・高度経済成長の牽引には大きく貢献した。

制度の
限界

急速な社会環境の変動

- 他国に類例をみない急激な人口減少と少子高齢化
- 産業の海外進出に伴う国内産業の空洞化
- 世界的な経済活動のボーダレス化 など

中央集権型行政システムの制度疲労

- 全国画一の統一性と公平性を重視するあまり、地域的な諸条件の多様性を軽視し、地域ごとの個性ある生活文化を衰微させてしまった。
- また、中央（東京）へ、人・財源を過度に集中させたため、地方の資源を収奪し、その活力を奪うことになってしまった。

今の日本に必要なもの

- ・ 新たな成長モデルの構築

～広島におけるイノベーション事例～

新たな成長モデルの構築 ～本当の『地方創生』の実現～

日本の活力と競争力を維持するためには、

- 「多様性を国の持続的发展につなげる」 新たな成長モデルの構築が必要
- 東京一極集中による画一性等を是正するため、首都圏に集中している「多様な人材を地方へ分散」

多様性による活力と競争力

- ・ 全国各地で国際社会を視野に入れた地域運営
- ・ 多様性と活力を有する地域の創出
- ・ 国としての多様性が生み出される中で、更なる活力と競争力が創出

新しい国と地方の形

- ・ 地方公共団体も、一定の経済規模と行財政規模を有し、自立した行政の権限を備えた広域自治体が、自らの発想と創意工夫により、魅力ある地域づくりに向けた施策を展開
- ・ 分散により大規模災害時の経済活動停止などのリスクも軽減

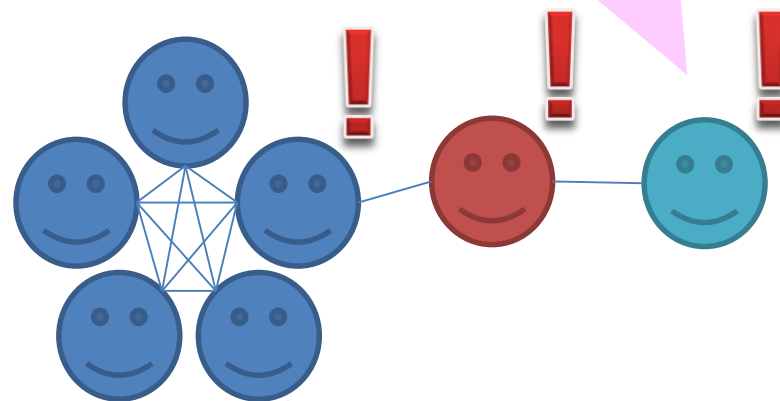
イノベーションの源泉 = 『多 様 性』

多様性から生まれる
クリエイティビティ



弱いつながりから伝わる
新たな知識

よそ者とのつながり
→新しい知識の伝播



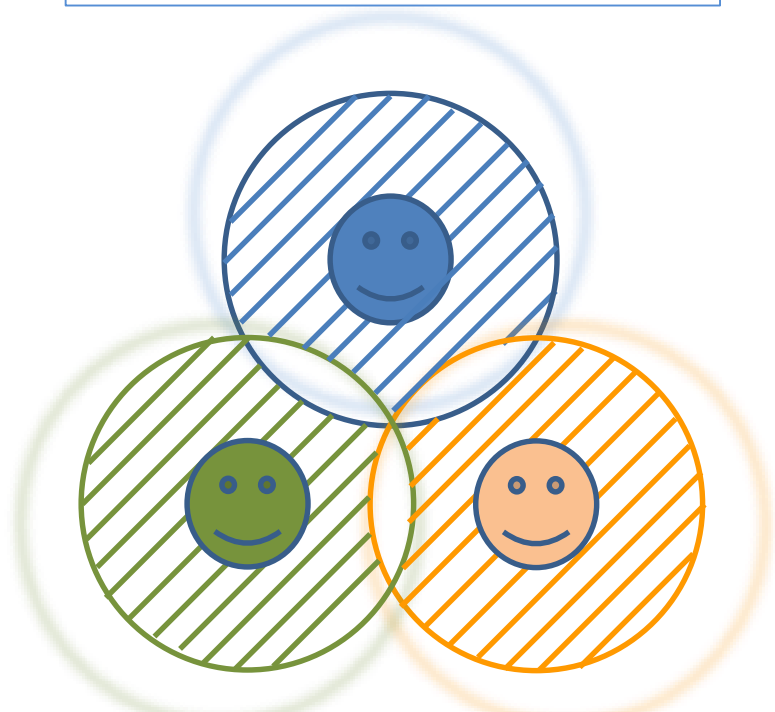
地域内・組織内の密度の濃いネットワーク
→ネットワーク内での知識の共有

イノベーションは参勤交代に学べ 《空間経済学：藤田昌久 京都大学名誉教授》

三人寄れば文殊の知恵

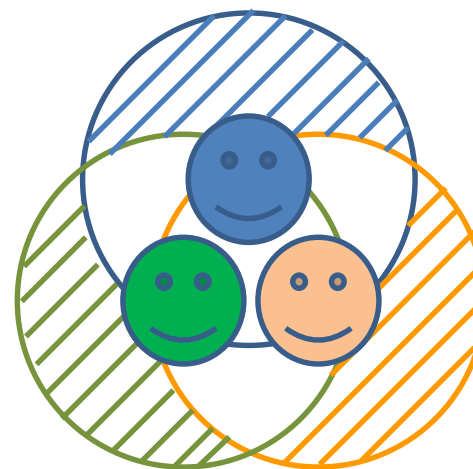
⇒ 三人が重なり合わないほど、『知恵』は広がる。

知識の多様性「大」



アメリカ・ヨーロッパ

知識の多様性「小」



東京一極集中

⇒ クリエーティビティーの低下

広島からの地方創生

- ・ 広島からはじまる『イノベーション』
- ・ 広島からはじまる『新しい人づくり』

広島からはじまる『イノベーション』

- これまでの発想や手法に捉われることなく、新しいアイデアやモノや情報，仕組みなどを組み合わせることにより， 新たな価値を創造 すること。

＜イノベーションの具体的タイプ類型＞

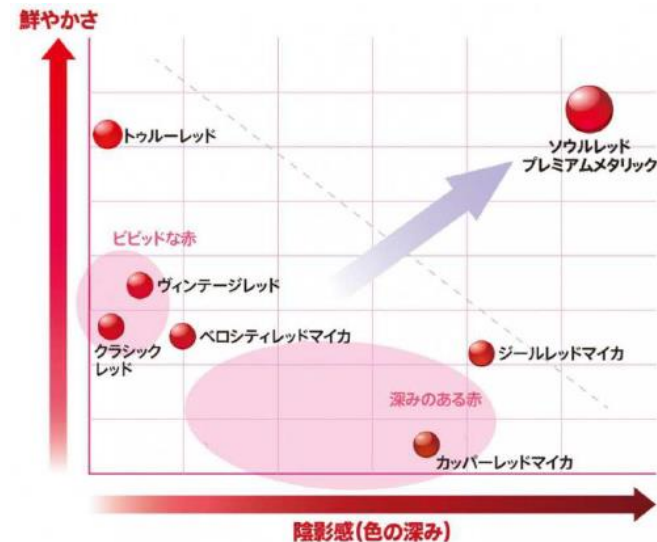
- (1) 新たな財貨の生産（プロダクト・イノベーション）
- (2) 新たな生産方法の開発（プロセス・イノベーション）
- (3) 新たな販売先の開拓（マーケティング）
- (4) 新たな仕入先の獲得（サプライチェーン・マネジメント）
- (5) 新たな組織の実現（組織イノベーション）

広島におけるイノベーション事例

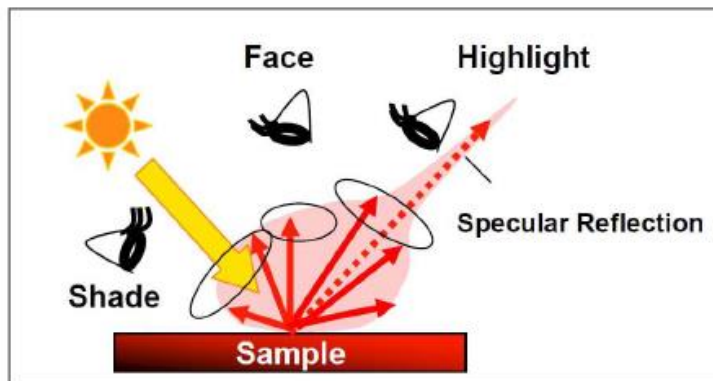
- マツダは、ロードスターが2016年に「世界カー・オブ・ザ・イヤー」, 「世界カーデザイン・オブ・ザ・イヤー」を同時受賞



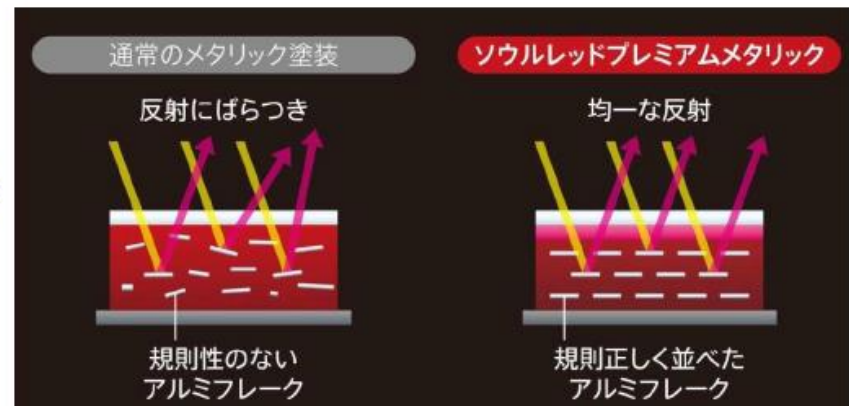
MAZDAホームページより加工



色の光学特性と人間の見え方の関係をモデル化



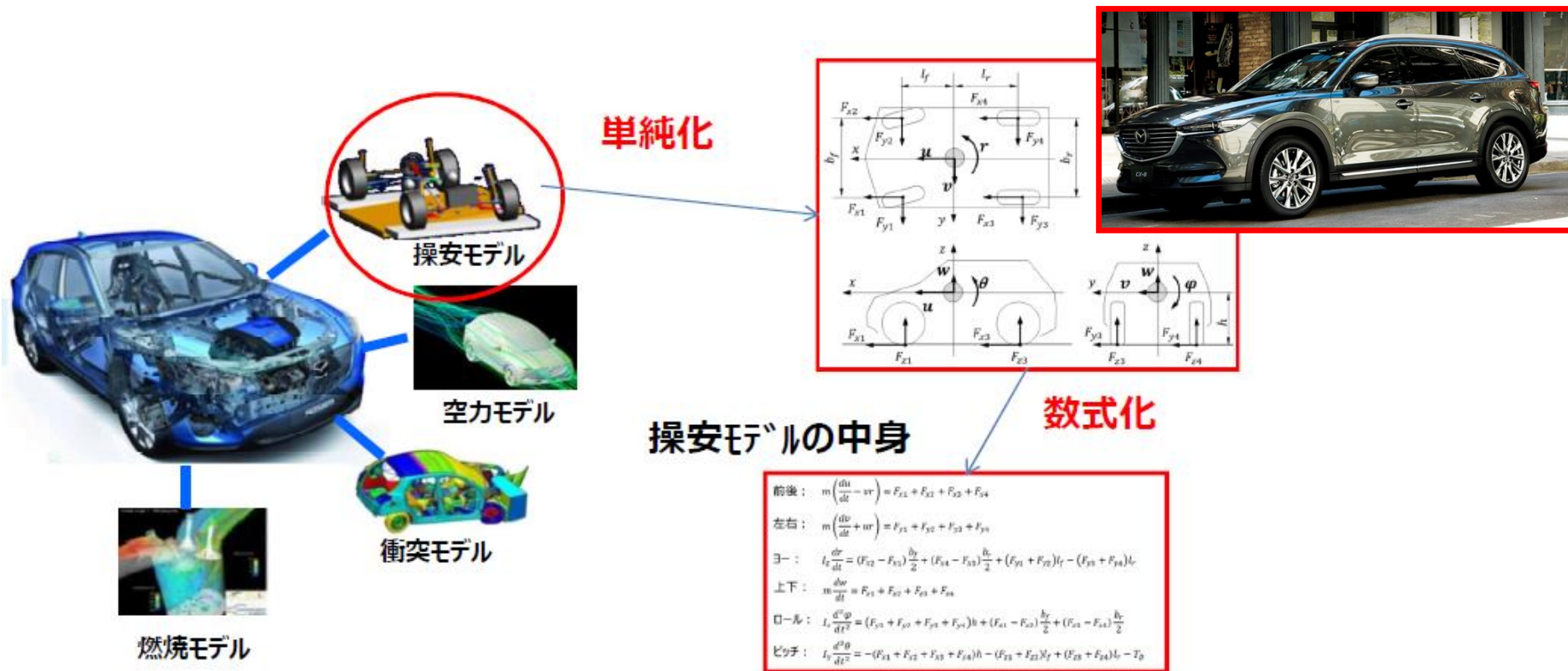
アルミフレークの並べ方までコントロール



モデルベース開発（M B D : Model Based Development）

～ 基礎研究（M B R）から社会実装まで一気通貫で実現 ～

- 新規開発における高度＆複雑な現象をエッセンス（理論や数式）のみで単純化
 - ⇒ 試作車や試作部品を作らないことによる開発の超効率化
 - ⇒ モデルの共通言語化により，部門だけでなく大学等との連携が飛躍的に向上



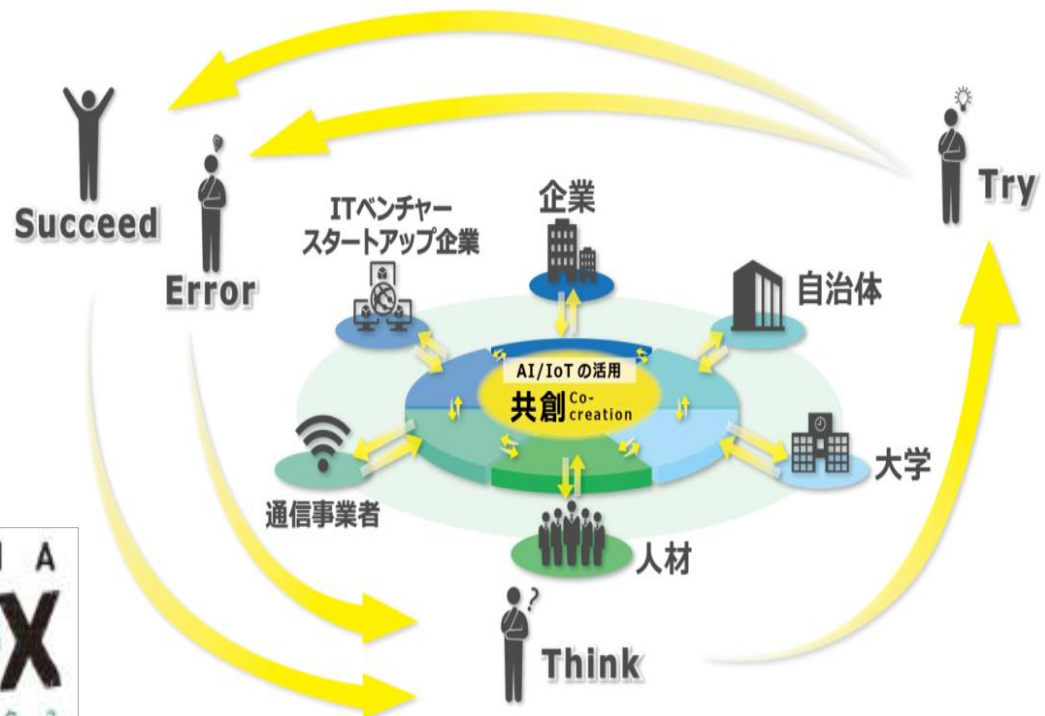
ひろしま「ものづくりデジタル」イノベーション創出プログラム

〔地方大学・地域産業創生交付金採択（全国7件）〕

AI/IoT実証プラットフォームの事業構想

- AI/IoT, ビッグデータ等インダストリー4.0や次世代技術によってこれまでにない新しいソリューションを創り出し技術やノウハウを持つ県内外の企業や人材を呼び込むことを目的として,

『広島県をまるごと
実証フィールドとし、
共創で何でもできる
オープンな実証実験
の場を構築』



『ひろしまサンドボックス』

実証実験を通じ中長期的なノウハウ蓄積と人材育成

ひろしまサンドボックスシステム図

異なるプラットフォーム間での有機的なデータ結合を行う
新しいサービスの創出を目指す。

分野を超えた連携



スマート観光

データ利用（API連携）



総合防災インフラ管理

データ利用（API連携）



AI製造業

データ利用（API連携）



スマート農林水産業

データ利用（API連携）



働き方改革

データ利用（API連携）

データ連携基盤（仮称）



データ整形

API

データ利用
（検索・分析）

ユーザ権限管理

アプリ開発環境

セキュリティ対策

データ利用（API連携）

データ利用（API連携）

データ利用（API連携）

データ利用（API連携）



ソフトバンク
（1/30 連携協定締結）
IoTプラットフォーム

ネットワーク

デバイス



NTT西日本
（4/6 連携協定締結）
IoTプラットフォーム

ネットワーク

デバイス



エネルギー
・コミュニケーションズ
（5/29 連携協定締結）
IoTプラットフォーム

ネットワーク

デバイス



広島県オープンデータ
IoTプラットフォーム

ネットワーク

デバイス



スマートシティプラットフォーム



産業系プラットフォーム

分野間の連携

広島からはじまる『人づくり』

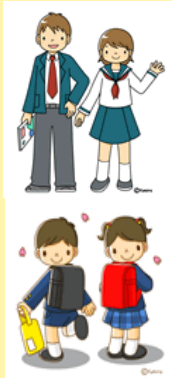
～ 幼児期から社会人まで一貫した取組 ～



社会人



大学生



中高生



小学生



幼児期

＝《妊娠期～》

- ◆ プロフェッショナル人材マッチング支援
- ◆ 高度産業人材の育成
- ◆ ひろしまイノベーションリーダー養成塾
- ◆ グローバル人材の採用支援

- ◆ 留学生の受入倍増・定着の促進
- ◆ 積極的に社会に貢献できる人材の育成
～県立広島大学に経営専門職大学院（MBA）

- ◆ 海外姉妹校提携や海外留学の促進
- ◆ 広島叡智学園中学校・高等学校（平成31年4月開校）

- ◆ 広島版「学びの変革」アクション・プラン
～小・中・高等学校における学力向上 など

- ◆ 「学びのセーフティネット」の構築

- ◆ 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン
～全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上

- ◆ 「ひろしま版ネウボラ」の構築

ひろしま版ネウボラの構築

【背景】 核家族化の進行等により、身近な相談相手が不足し「子育ての孤立化」が進行

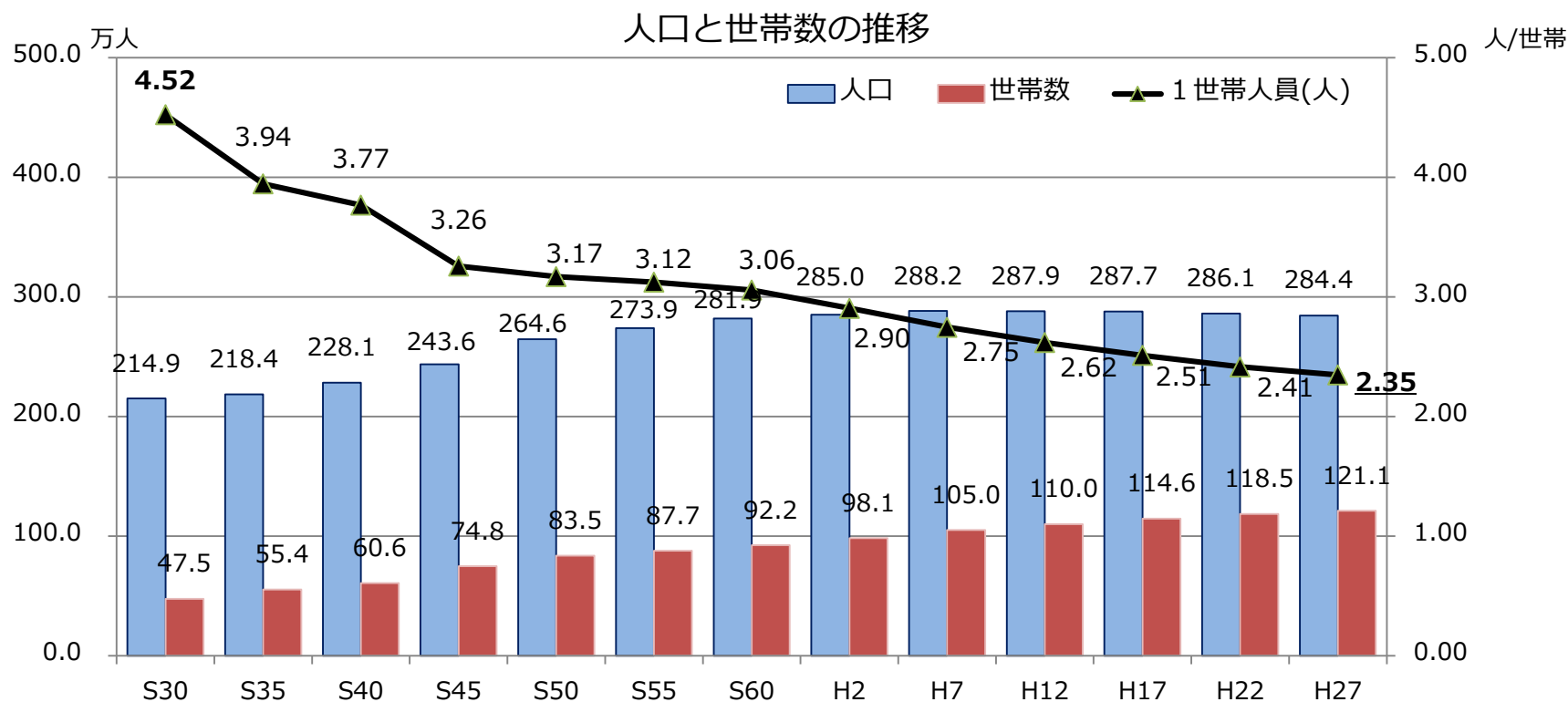
核家族化

S30 : 4.52 → H27:2.35 人/世帯

子育てに不安や負担感を
感じている人 : 18%

虐待相談件数

H22 : 1,275件→H29 : 2,053件



ひろしま版ネウボラのイメージ

目指す姿

- ◆ すべての子育て家庭との頻繁な双方向のコンタクトにより，信頼関係が構築され，**子育ての安心感を醸成**
- ◆ 子育て家庭が抱える**課題やリスクを確実に把握**し，**早期に適切な支援**に結び付ける

市・町

ひろしま版ネウボラ

妊娠期～子育て期までの母子保健と子育て支援が一体となった拠点（窓口）を身近な場所に設置

- ・ 設置数：日常生活圏域（125か所）
- ・ 拠点ごとに母子保健及び子育て支援等の専門職員を配置
- ・ 母子保健と子育て支援サービス等をワンストップで提供



妊娠・出産から子育て期まで『一貫して見守り』必要なサービスをコーディネート

来 所
見守り・支援

母子保健サービス

産後ケア等

- 宿泊型・日帰り型産後ケア
訪問型産後ケア
産前・産後サポート 等

家事・育児援助

医療機関(産科・小児科等)

こども家庭センター

就労支援

- わーくわくママサポート
保育所紹介，入所申請

保育所，
認定こども園等

子育て支援サービス

- 一時預かり
■ ファミリーサポートセンター



ひろしま版ネウボラ構築に向けたロードマップ

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31・令和2年度	令和3年度以降
設置数	尾道市・福山市・海田町 (3市町) 20か所	尾道市・福山市・海田町 三次市・府中町・北広島町 (6市町) 30か所	30か所	順次拡大 125か所
事業内容	○ モデル事業の実施（実施市町を順次拡大） ○ 専門職（保健師・助産師等）の確保 EBPの導入による 効果検証, 分析 ・モデル事業総括 ・拡大支援 ひろしま版ネウボラ 基本型の形成			ひろしま版ネウボラ 構築
事業費	モデル事業 8千万円程度	モデル事業 1億7千万円程度		県・市町負担合計 9～22億円程度 (総事業費29～60億円)

施策の改善に力点を置いたパネルデータの整備

- ネウボラ事業の効果を確認してPDCAを回すための、データ把握の在り方について市町と意見交換を実施
- ネウボラが目指す「ポピュレーション・アプローチ」の実現のためには、パネルデータを整備し、働きかける対象の『個々の状況をきめ細かに把握』しておく必要があるとの共通認識に至る。

ネウボラ（保健師・助産師等）アセスメントシート

利用者アンケート



基礎情報						アセスメントのハイリスク項目											ハイリスク者の支援内容										不安感					サービスの利用状況	
						妊産婦(母親)のリスク				子供のリスク				個別支援 計画策定 有無	支援の必要性・緊急性																		
ID	母子健康 手帳番号	発行年	コンタクト タイミング	年	月	母親の 年齢	子供の 年齢	配偶者 有無	配偶者の 協力の有 無	支援者の 有無	妊娠につ いて	妊婦の健 康状態	生活歴や 生活状況		子供の状 況	保護者の 状況	家族・家庭 の状況	定期面 談・事業 紹介等	要経過観 察(随時 訪問・産 後ケア 等)	要支援児 童・特定 妊婦等	要保護児 童	他機関へ の連携の 有無	連携先(内容) 1 母子保健サー ビス 2 子育て支援 サービス 3 経済的支援 4 虐待対応 5 その他	自分自身 の健康	子育てに 関する 話し相手 や相談相 手	休息のた めの時間	お子さん の生後の 発達	自身のお 子さんとの 生後の 接し方	相談員への相 談頻度 ※	左記の利 用頻度 月			
1	A001	2018	手帳交付時	2018	5	27	妊娠8週	あり																2	3	3	3	4					
1	A001	2018	その他	2018	8	27	妊娠5か月	あり																									
1	A001	2018	産前	2018	11	27	妊娠8か月	あり																2	3	3	3	4	○	1			
1	A001	2018	その他	2018	12	27	1か月	あり																									
1	A001	2018	乳児全戸訪問	2019	1	27	2か月	あり																2	2	3	3	3	○	1			
1	A001	2018	その他	2019	2	27	3か月	あり																									
1	A001	2018	その他	2019	3	27	4か月	あり																									
2	A002	2018	手帳交付時	2018	4	28	妊娠8週	あり	リスク有	リスク有		リスク有						○						2	5	3	3	4					
2	A002	2018	その他	2018	8	28	妊娠6か月	あり	リスク有	リスク有		リスク有						○															
2	A002	2018	産前	2018	10	29	妊娠8か月	あり	リスク有	リスク有		リスク有						○				あり	1	2	5	3	3	4	○	1			
2	A002	2018	乳児全戸訪問	2019	1	29	2か月	あり	リスク有	リスク有		リスク有			リスク有	リスク有	あり		○			あり	1	2	4	3	3	4	○	2			

※掲載のデータはイメージ

国内初の広域連携（県＋6市）SIB導入事業

○ SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）手法による大腸がん検診の個別受診勧奨事業

大腸がんの早期発見は死亡率減少・医療費削減につながるというエビデンスがあり、このデータをもとに、成果報酬額の設定が可能

⇒ 「一次検診受診者数」と「精密検査受診率」を成果指標とし支払額を決定

⇒ 実施は受託事業者「**おまかせ**」～創意工夫を尊重し、**効果を最大限引き出す**。

○ 取組効果の科学的な実証によって、「**成果が可視化**」される。

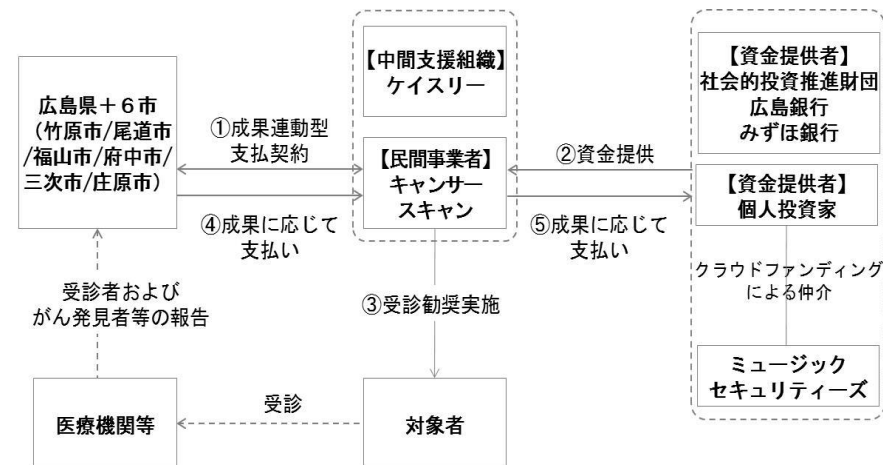
⇒ より成果志向に根差した実施手法の導入が可能に！

〔成果連動支払のイメージ〕



※成果指標は、「大腸がん検診受診者数」及び「精密検査受診率」

〔SIB実施構成メンバー〕



広島県「教育に関する大綱」の策定

- 地方公共団体としての教育政策の方向性が明確に！
- 教育の目標や施策の**根本的な方針**
- 総合教育会議において、首長と教育委員会が**協議・調整を尽くし、首長が策定**

目 標

広島で学んで良かったと思える「日本の教育県」の実現

広島らしさ

幼児期から大学・社会人まで

オール広島県

を3つの柱として

育成すべき人材

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と
協働して、新たな価値を創造することのできる人材

広島で学んで良かったと思える
広島で学んでみたいと思われる

日本の 教育県の実現

広島県教育に関する大綱



平成 28年 2月



遊び 学び 育つ ひろしまっ子！推進プランの策定

【プラン策定の背景】

- 子供が育つ環境は、各家庭や幼稚園・保育園など異なっており、それぞれの取組にも違いがある。
- 全ての乳幼児が、自ら学ぶ意欲や力を育む環境が、必ずしも十分に整っているとはいえない。

- 目指す乳幼児の姿を保護者、教員・保育士など関係者全員で共有
- 広島版「学びの変革」アクション・プランを見据えた「**育みたい5つの力**」

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン

～広島県のすべての乳幼児の健やかな成長のために～



初等・中等教育【小学校・中学校・高等学校】

広島版「学びの変革」アクション・プラン

- 変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力「学び続ける力」の育成が必要
- グローバル化する21世紀の社会を、子供たちが、たくましく生きていくための、新しい教育モデルの構築を目指す。

広島版「学びの変革」アクション・プラン

－コンピテンシーの育成を目指した主体的な学びの充実－

育成すべき人材像

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材

小・中・高の系統的な異文化間協働活動

- お互いの違いを理解し認め合いながら，協力して問題を解決することで，児童生徒のグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力を育成
- 全ての県立学校 97校が海外姉妹校との交流活動を活性化

10年間で1万人を目指す！

小学校

多様性に触れる

グローバル・キャンプ

- ▶ 外国人(ALT等)と交流体験
 - 各種アクティビティ(ウォークラリー, スポーツ交流等)

各種交流活動

- ▶ 外国人(留学生等)との交流
 - 外国の遊びを通じた交流
 - スポーツ交流
 - ICTを活用した交流 等

中学校

多様性を受容する

グローバル・キャンプ

- ▶ 外国人(ALT)と共同生活
 - 野外炊飯, キャンプファイヤー
 - 各種アクティビティ(ウォークラリー等)

各種交流活動

- ▶ 外国人(留学生等)との交流
 - 文化交流(茶道・書道・神楽等)
 - スポーツ交流(日本語NG)
 - ICTを活用した交流 等

短期の海外体験

- ▶ 海外への研修旅行(1週間程度)

高等学校

多様な人々と協働する

姉妹校交流

- ▶ ICTを活用したWeb会議
- ▶ 派遣・受入による相互交流
 - 授業交流・部活動交流・ホームステイ等

海外留学

- ▶ 短期留学(1ヶ月程度)
 - 目的別:異文化間協働活動, 言語スキル修得, スポーツ交流, リーダー育成等
- ▶ 長期留学(1年程度)
 - 現地校への通学・ホームステイ等

グローバル・キャンプ

- 小・中学生を対象としたグローバル・キャンプなど、小・中・高の系統的な異文化間協働活動の充実



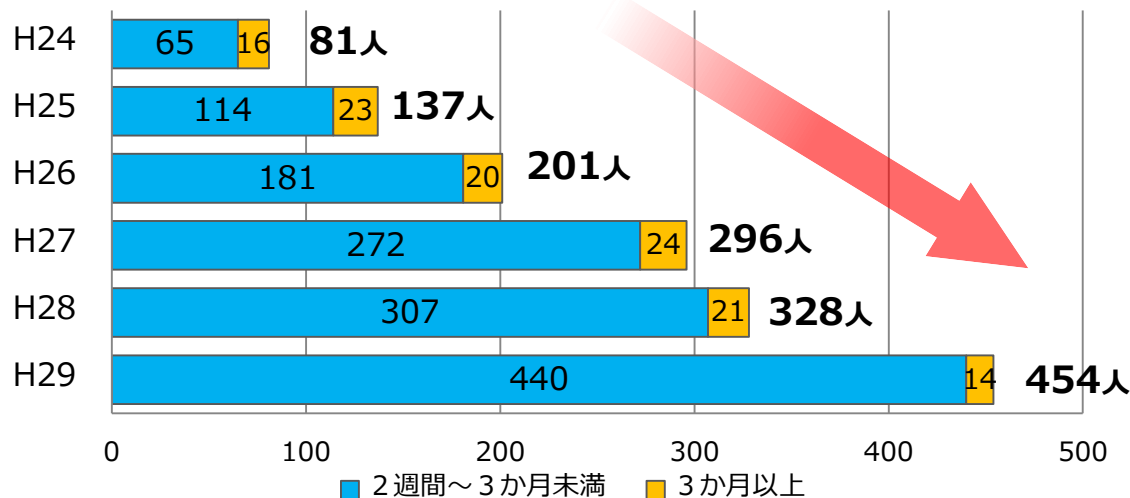
○ すべての県立学校が、海外の学校と姉妹校提携を締結
(世界15か国・地域の120校)

○ 9つの海外教育行政機関等と協定を締結

- ・ オーストラリア クイーンズランド州
- ・ 台湾 桃園市
- ・ カナダ ブリティッシュコロンビア州
- ・ メキシコ グアナフアト大学
- ・ フィリピン教育省 第7地区セントラルビサヤ
- ・ ニュージーランド エデュケーション・クライストチャーチ
- ・ アメリカ合衆国 ハワイ州 など



【県立高校生の海外留学者数】



高校生の海外留学は
5年間で5倍以上増！

平和・SDGs 貢献人材育成強化プラットフォームの形成

平和を希求する若者のネットワーク化を通してSDGsへ貢献

16 平和と公正を
すべての人に



4 質の高い教育を
みんなに



世界の若者へ平和の意欲を創出

世界193か国へ拡大

総合的に提供

英語・多言語化

ANA AVATAR

ANAアバタービジョンに「平和推進パートナー」として参画
ジュニアフォーラムにアバターを導入し、身体的な障害がある青少年に参加機会を拡大

「国際平和のためのひろしまアクティブラーニング」の導入

[共催]
(株)すららネット/金沢工業大学
[企画・監修]
金沢工業大学SDGs推進センター
長・平本督太郎氏

ひろしまジュニア国際フォーラム

- ✓ 世界の青少年大使が広島に一同に会して、「核兵器のない平和な国際社会」に向けて討議
- ✓ 各国代表が、被爆の実相に触れ、SDGsを学び、国際平和を発信

【2018年概要】

世界40か国・地域の外国人高校生を含む約100名の参加者が、討議・交流等を行い、広島宣言を発表し、国連及び外務省に提出する。

●過去のジュニアフォーラムの様子

●国連広報センター長に提出



広島平和MOOC (オンライン学習講座)

- 大規模かつインタラクティブに平和について学ぶ機会を提供
- 被爆の実相と復興への希望を学ぶ
- オンラインで「学びのネットワーク」を構築

【出演者】



東京大学教授
藤原帰一氏



歴史家・
被爆者代表
森重 明氏

【主なテーマ】

- 世界における被爆地としての広島
- 平和への自覚：被災から復興へ
- 平和とは何か：過去・現在・未来

経済

16 平和と公正を
すべての人に

広島は、マルチステイクホルダー・パートナーシップによる
No.16「平和」への貢献を通して、SDGsの達成へ貢献

社会



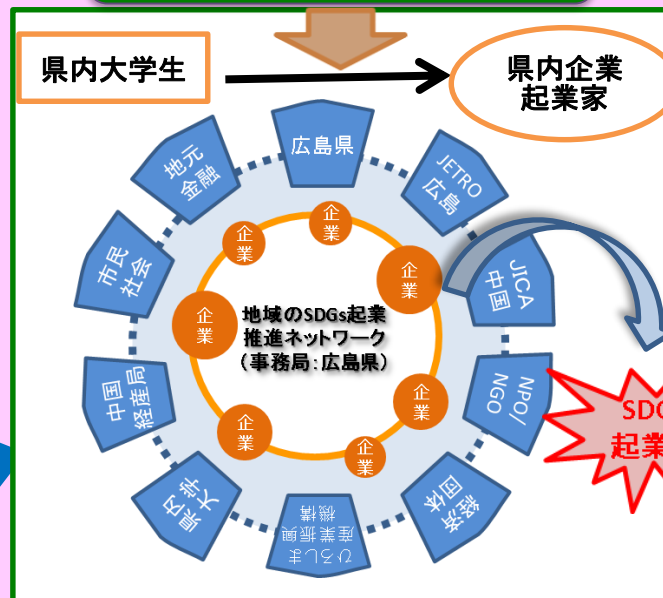
SDGsビジネスやイノベーション
創出支援事業の実施

平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の構築
国際平和のための世界経済人会議の開催

平和やSDGsに貢献する
人材の育成

SDGs起業家創出エコシステム
(広島モデル)の形成

平和人材プラットフォームの構築



世界18億の若者へ平和学習の
機会を提供

- ・広島平和MOOC(オンライン学習講座)の開発
- ・アクティブ・ラーニング教材
- ・世界の平和学習サイトを結ぶ

SDGs
起業家

環境



環境問題と平和の関係性
についての理解促進

『ひろしま未来チャレンジビジョン』の主要指標

8つの優先課題		広島県分野別計画・戦略等		主な目標・指標	SDGsターゲット
①	あらゆる人々の活躍の推進	教育	広島県「学びの改革」アクション・プラン	社会の持続的な平和と発展を謳うグローバルリーダー校の設立	
		女性	女性の活躍推進計画	ユニタール広島事務所と連携し、アフガニスタンの女子サッカー支援	
②	健康・長寿の達成	がん対策	広島県がん対策推進計画	県民がん検診受診率：50%以上	
③	成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	商工業	ひろしま産業イノベーション加速戦略	海外との連携を通じた新しい価値を生み出すビジネス展開：10件	 
		観光	ひろしま観光立県推進基本計画	おもてなしの充実による旅行者満足度の向上：77%	
		農業	2020広島県農林水産業チャレンジプラン	担い手確保・育成：新規農業就農者：200人	  
④	持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	インフラ	社会資本未来プラン	污水处理人口普及率：90%以上	 
		防災	広島県地域防災計画	自主防災組織率：95%	 
⑤	省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会	温暖化対策	広島県地球温暖化対策実行計画	再生可能エネルギー導入・省エネ実施 太陽光発電導入量(家庭用)：388千kw	  
⑥	生物多様性、海洋等の環境の保全	環境保全	未来へつなげ命の環！広島プラン～生物多様性広島戦略～	中国四川省から環境保護に係る研修員の受入れや技術協力員の派遣	 
⑦	平和と安全・安心社会の実現	平和	国際平和拠点ひろしま構想	ミンダナオ、カンボジアにおける復興人材育成の実施	 
⑧	SDGs実施推進の体制と手段	パートナーシップ	広島県経営戦略会議	SDGsの達成に向けた取組みを促進するため部局横断的検討組織	